



聴くことで育つ正直さ ふり返りの季節に 校長 Sr. 大山 江理子



寒さの中にも、ロウバイの花がよい香を放ち、梅の花も開こうとしています。休み時間の前庭は、児童の元気な声であふれています。一方、1月22日の大雪では、都会は雪に弱いものであることを改めて感じさせられました。インフルエンザの流行する時期でもあり、何かと心配りが必要な季節です。

2月14日は「灰の水曜日」、カトリック教会では復活祭に向けての心の準備の日々が始まります。復活祭までの40日間に、自分をふり返り、神さまとの関わりをふり返ります。初等科の生活も学年のしめくくりの、ふり返りの時期へと進んでいきます。ふり返りにおいて大事なことは正直ということです。今の自分の姿をどれほど正直に見つめることができるかどうか、その度合いによってふり返りの質は変わってきます。

お子さんのことばをどうぞじっくり聴いてあげてください。人はじっくり聴かれると、正直に話さざるを得なくなっていくものです。注意したり、叱ったりすることとは別に、まずじっくり聴いてあげる。何を言おうとしているのかに耳を傾ける。そうすると、子どもは自分も自分のことばに耳を傾け、自分の言葉の意味を味わうようになります。自分が話していることが、ほんものかどうか自分で気になっていきます。毎日の小さな積み重ねがお子さんの姿勢を育てます。大人は、子どもにどれほど正直に耳を傾けたかを問われることになるかもしれません。

聖フィリピン・デュシェーンには、アメリカでの冬の生活で、水に苦労した話があります。水くみに行くと、凍結しています。やっと氷をとっても、まず火をたいて、水を作らなければなりません。水源はあるのに、水が手に入らない。寒さの中での作業を考えると、昔の生活の厳しさが心に響きます。しかし、聖フィリピンはきっと、自分たちよりもっと厳しい生活をしている人々がいることを心にかけてに違いありません。私たちの生活では、スイッチひとつで温水も暖房も手にすることができます。子どもたちと共に、この便利さを感謝しながら、困難な状況にいる人々に思いを馳せていきたいと思ひます。

2月の行事予定

2日(金)	学習発表会児童観覧日	14日(水)	灰の水曜日
3日(土)	学習発表会		2年 5・6限参観、保護者会
4日(日)	学習発表会予備日	15日(木)	6年卒研発表会
5日(月)	学習発表会代休		3年 5・6限参観、保護者会
7日(水)	2nd English Time	16日(金)	6年卒研発表会
8日(木)	午後家庭学習日(私学半日研修)		4年 5・6限参観、保護者会
9日(金)	4年まどめのテスト	19日(月)	5年みこころ発表会(3～6限)、保護者会
11日(日)	建国記念の日	20日(火)	初新1年入学前保護者会・文具販売
12日(月)	建国記念の日振替休日	24日(土)	初新5年転入・編入生オリエンテーション
13日(火)	1年 1・2限参観、保護者会	26日(月)	ハイチデー
	6年カトリック音楽会		ファミリー eルール講演会(4～6年)
			1年インターナショナルスクール交流

自立は感謝から

先週の大雪で校内は一面の銀世界。足を踏み入れるのも躊躇するほど美しい風景でした。その後休み時間には、子どもたちの作った大小の雪だるまが校庭のあちこちにでき、都会では珍しい積雪であったことを改めて感じながら、私も何年ぶりかで雪の玉を握る感触を味わい、童心にかえって子どもたちとの雪合戦を思い切り楽しみました。交通網の混乱で登校できなかった子どもたちがいて残念でしたが、地域や使用する交通機関により大事をとってお休みいただいたご家庭的的確なご判断に感謝申し上げます。

大雪に見舞われた翌日から、気温が低く朝晩は路面が凍るような寒さですが、その凍えるような中を、いつものように警備の方が子どもたち、そして来校なさる方の安全を見守ってくださっています。帰宅する際声をかけると、長く学院に勤めてくださる警備の方が近づいていらして、今日嬉しいことがあったと笑顔で報告してくださいました。3、4年生くらいの子どものみでしょうか。下校する際警備の方を見つけると「寒い中、ありがとうございます」と声をかけ帰って行った、その相手を思いやる優しい一言に、寒さも忘れて心が温かくなったと伝えてくださったのです。

挨拶は、コミュニケーションの第一歩であり、中でも特に「ありがとう」という感謝の言葉は、人と人の心を結ぶ大切な言葉です。感謝できるということは、周りの人から受けた言葉や行いに気づき、しっかりと受け止めている証です。自立している子どもは、この言葉が当たり前のように出てきますが、残念ながら自分のことで精一杯の子どもの中には、お礼を伝える心の余裕がないことがあります。

大切な言葉と分かりつつ、中々すぐに言葉にできない子どもたちには、まず周りにいるおとなが手本を示すこと、そして子どもたちの良い姿に「ありがとう」の言葉を伝えることを意識して行うことが必要かもしれません。一日に何度も「ありがとう」の言葉を伝えられる子どもがたくさん育ち、学校中が「ありがとう」で溢れることを願い、これからも感謝の言葉を伝えていきたいと思ひます。



お知らせ

2020年東京オリンピック・パラリンピックのマスコット選定投票に初等科生も参加しました。最終候補3作品の中から一番ふさわしいと思うものに、各クラスで投票しました。初等科の結果は以下の通りです。どのマスコットが選ばれるか今から楽しみです！！

ア：6票 イ：9票 ウ：3票



2月の生活指導 「言葉づかいに気をつける」

心を込めて おいのりをする よく考えた言葉づかいを心がける
「ありがとう。」 「ごめんなさい。」 「お願いいたします。」
日常の言葉も、もう一度大切に。

